



平成 27 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン  
代表者名 代表取締役 浅川岳彦  
(コード番号 8107 東証 第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 木村裕輔  
(TEL 078-332-8288)

#### 子会社の出資持分譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 23 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である上海可夢楽且商貿有限公司（以下、「上海可夢楽且」といいます。）への出資持分の一部を青島大都国際貿易有限公司（以下、「青島大都」といいます。）へ譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 出資持分譲渡の理由

当社では、海外での事業展開を重要な戦略のひとつと考えており、平成 24 年 10 月に、中国に上海可夢楽且を設立し、現地協力工場で生産した当社ブランドの中国小売業への卸販売を主軸として、中国ビジネスを開始いたしました。平成 26 年 3 月期には、1 億 26 百万円の売上を計上しましたが、廉価な現地製品が溢れる中で、日本ブランドであることは決定的な差別化要因にはならず、主力得意先における販売不調に起因し、受注は先細りする状況にありました。

平成 27 年 3 月期には、中国における新規得意先の開拓に努めるとともに、日本製の「愛情設計」を取り扱いブランドに加えました。同ブランドは、新生児向けの肌着、衣料品、浴用品、寝具等を展開しており、当社の品質管理の下、主に国内協力工場 2 社で生産しています。当社が創業来培った新生児衣料に関するノウハウを結集し、「全ての赤ちゃんのために」をコンセプトとして、素材、形状、縫製仕様に至るまで、徹底して新生児の健康と発育に配慮した、当社独自の特性を有しております。

昨今、日本製のベビー用品がその品質の高さから、中国をはじめ海外市場においても評価されていますが、当社「愛情設計」もその特性について広く海外でも評価され、受け入れられる可能性は大いにあると考えております。しかしながら、中国において、当社が単独で大手販路を獲得することは相当に困難であり、数社との小口取引を開始いたしました。全体を押し上げるまでには至っておりません。

これまでの経験を踏まえると、中国ビジネスを成功させるためには、当社ブランドの特性を広く訴求し、市場に浸透させていくための販売拠点や人材が必要であり、さらに、有力なネットワ

ークと人材をもった良きパートナーと良好で強い協力関係を築くことが極めて重要であると強く認識しております。

国内における経営環境が依然として厳しい中、当社は改めて海外事業の重要性を再認識し、今後の戦略について検討を進めてまいりました。その結果、海外の有力なパートナーとの協業が最適であるとの結論に達し、その模索に取り組んでおりましたところ、平成 27 年 4 月頃、当社は、証券会社の紹介で、株式会社大都商会をはじめとする大都グループの代表者である鄧明輝氏との面談の機会を得るところとなりました。当社と大都グループは、双方の経営資源を活用したビジネスの可能性について協議を重ねてまいりました。

大都グループは、国内及び中国におけるプラスチックのリサイクル事業を主業としておりますが、近年の廃プラスチック価格の下落を受けて、日中間の貿易事業や日本国内の不動産事業等の事業多角化を図っております。大都グループの 1 社である貿易事業を営む青島大都是、日本製の紙オムツの中国華南地区における販売代理店事業を展開し、5,000 店を超える現地小売店に対する販売ネットワークを有しております。同社は、平成 24 年 2 月に設立された若い会社ですが、日本製紙オムツの特性をアピールするために中国各地で実験販売を実施するなど、プロモーション活動にも注力し、同製品の販売高を飛躍的に伸ばしています。

また、中国において、武漢、広州、大連、深セン、上海、重慶、成都と広く営業拠点を整備しており、人材の育成にも力を注いでいます。

さらに、これまでも日本製の紙オムツだけでなく、優良なベビー用品や日用品の販売を手がけておりますが、今後も取り扱い商品を拡充していくことを検討しています。

以上を踏まえ、当社の製品開発力と、青島大都是のもつ販売拠点及び人材といった両者の経営資源を相互補完的に活用し、「愛情設計」を中国において広く拡大していくプランについて、当社より鄧氏に対し提案したところ、賛同を得るところとなりました。その後も、当社と大都グループは、現場レベルでの検討も含め協議を重ねてまいりましたが、両社間で友好的なパートナーシップを築き、協働していくことで、相互に発展することができるとの認識で一致し、この度、「愛情設計」ブランドの中国における販売事業に関する業務提携を実施することといたしました。

当社は、「愛情設計」の日本国内における認知度の向上、製品の供給、販売ノウハウの提供を行い、大都グループは、中国における同ブランドの認知度向上と販売網の拡大を担うことで、両社は大筋で合意しております。

また、当社及び大都グループは、中国において日本製「愛情設計」の販売網を拡大していくためには、製造元である当社と、中国においてベビー用品の販売拠点を持つ青島大都是の両社の合弁による販売会社を通じた製品供給が望ましいとの認識に立って両社で協議を進めてまいりました。

その結果、既設の当社 100%子会社である上海可夢樂旦の持分の 70%を青島大都是に譲渡することを決定いたしました。併せて役員人事も青島大都是及び当社の出資割合に応じた構成といたします。これにより中国における運営の主体を大都グループに移管し、同社の販売ネットワークと中国の営業拠点・人材を活用し、より短期間に販売の拡大を目指してまいります。

本持分譲渡後も当社は、上海可夢樂旦の持分の 30%を所有し、協力関係を維持しながら、両社の成長と企業価値の向上を目指してまいります。

## 2. 異動する子会社の概要

(1)名称	上海可夢樂旦商貿有限公司		
(2)所在地	上海市長寧区遵義南路 88 号協泰中心 15 楼 1538 室		
(3)代表者の役職・氏名	董事長 木村裕輔		
(4)事業内容	ベビー・子供服の販売		
(5)資本金	50 万米ドル		
(6)設立年月日	平成 24 年 10 月 11 日		
(7)出資者及び出資比率	株式会社キムラタン（当社） 100%		
(8)上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社は当該会社の出資持分の 100%を保有しております。	
	人的関係	当社常務取締役が当該会社の董事長を兼任しており、当社取締役 1 名が董事を兼任しております。また、当社常勤監査役が当該会社の監事を兼任しております。	
	取引関係	製品の売買取引があります。	
(9)当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態（単位：千円）			
	平成 24 年 12 月期	平成 25 年 12 月期	平成 26 年 12 月期
純資産	25,734	33,516	44,587
総資産	33,003	72,993	78,344
売上高	24,673	126,882	35,609
営業利益	246	1,074	△14,966
経常利益	△137	933	△15,049
親会社株主に帰属する当期純利益	△137	893	△15,049

(注) 各決算期の期末日レート及び期中平均レートにより換算しております。

## 3. 出資持分譲渡先の概要

(1)名称	青島大都国際貿易有限公司		
(2)所在地	青島市市南区山東路 2 号甲 8 階 D 区		
(3)代表者の役職・氏名	董事長 鄧明輝		
(4)事業内容	ベビー用品、その他日用品の販売		
(5)資本金	2,000 万人民元		
(6)設立年月日	平成 24 年 2 月 28 日		
(7)出資者及び出資比率	鄧明輝 100%		
(8)上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	

	関連当事者への該 当状況	該当事項はありません。
--	-----------------	-------------

(注) 平成 27 年 9 月 30 日現在の概要であります。

#### 4. 譲渡する持分、譲渡価額及び譲渡前後の所有持分の状況

(1)異動前の所有持分	当社 100%
(2)譲渡持分	当社が所有する持分の 70%
(3)譲渡価額	35 万米ドル (円貨額 41,986 千円)
(4)異動後の所有持分	青島大都国際貿易有限公司 70% 当社 30%

(注) 譲渡価額の円貨額は、1 ドル=119.96 円のレートにより換算しております。

#### 5. 日程

(1)取締役会決議	平成 27 年 10 月 23 日
(2)持分譲渡契約締結日	平成 27 年 10 月 30 日 (予定)
(3)持分譲渡日	平成 27 年 11 月 30 日 (予定)

(注) 中国における当局の認可手続き等により、持分譲渡日は変動する場合があります。

#### 6. 今後の見通し

本持分譲渡により、上海可夢樂旦は当社の持分法適用会社となります。これにより、平成 28 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において、特別利益 (譲渡益) 約 20 百万円を計上する見込みです。

その他の影響につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

以上